

区の福祉課題と課題解決の方向性について(案)

2021/3/29

区の福祉課題	課題解決の方向性(取組方針)	施策	施策推進の方向
①身近に集える場の不足 ②世代間交流の不足 ③介護者や子育て中の保護者等の当事者同士が集まれる場の不足	1-1気軽に集える場の創設	1 地域のつながりをつくる	I 3つのつながりをつくる
①地域コミュニティの希薄化 ②既存の地縁団体に代わる新たなつながりの必要性 ③コロナ禍(コロナ後)におけるつながりの維持 ④既存の地縁団体の担い手不足・高齢化	1-2地域ネットワークの構築		
①身近な相談相手や相談場所の不足 ②地域資源の活用が不十分 ③地域の見守りや早期の気づきが困難	1-3身近な相談支援体制の充実		
①庁内関係部署の連携不足	2-1行政内部の連携強化	2 行政のつながりをつくる	
①複合的な課題や制度の狭間問題への対応 ②既存の相談機関の機能強化	2-2組織横断的な相談支援体制の構築		
①地域づくりへの区の関わり・支援のあり方 ②区と関係機関との連携が不十分	3-1区民や地域活動団体等との連携・協働の推進	3 地域と行政のつながりをつくる	
①誰もが使える施設の不足 ②施設や交通のバリアフリー化	4-1まちのバリアフリー化の推進	4 人に優しいまちをつくる	II 誰もが大切にされる社会をつくる
①成年後見制度等の普及啓発不足 ②成年後見以外の自己決定支援のあり方	5-1意思決定支援の推進	5 一人ひとりの尊厳を守る	
①虐待・DV等防止のための区・関係機関の連携不足 ②虐待・DV等予防の取組や支援体制 ③虐待・DV等の通告先・相談先の周知不足	5-2あらゆる暴力の防止		
①身元保証の仕組みの検討 ②生活困窮者に対する支援のあり方 ③住宅確保要配慮者への住宅確保支援のあり方	5-3自立支援の促進		
①要支援者の避難支援体制が不十分 ②福祉避難所のあり方 ③地域における防災教育の不足 ④災害ボランティアセンターの検討	6-1災害時要支援者対策の推進	6 災害時の福祉を向上させる	
①高齢者や障害者等の就労支援 ②誰もが積極的に社会と関わる仕組みの構築 ③高齢者や障害者等の生涯学習の場の不足	7-1誰もが活躍できる場づくり	7 誰もが社会参加できる仕組みをつくる	
①福祉サービス情報等がわかりづらい、入手しづらい ②高齢者や障害者、外国人等への情報発信	8-1わかりやすい情報の発信	8 情報の適切な活用を図る	
①支援関係者間での必要な情報共有の不足 ②情報共有における個人情報保護の問題	8-2関係者間での情報の共有		
①申請や手続きの利便性向上 ②人材不足等の問題におけるICTの活用等による業務効率化	8-3福祉分野におけるICT等の活用		
①ボランティアの確保・育成手法・コーディネート仕組みの検討 ②福祉分野に携わる区職員の理解や対応能力の向上 ③福祉事業者の人材確保への支援	9-1福祉人材の確保・育成	9 福祉の質を向上させる	III 取組の基盤をつくる
①事業者のサービスの質の向上	9-2サービスの質の向上		
①伴走型支援やアウトリーチ型(訪問型)支援等きめ細かな支援のあり方	9-3積極的な支援の実施		
①社会の人権や多様性への理解不足 ②地域への関心不足、地域の助けあいに対する理解不足	10-1共生社会への意識向上	10 啓発活動を推進する	